令和6年7月豪雨で被災された農業者のみなさまへ 遊佐町農作物等災害対策事業のご案内 豪雨で被災した農業用機械・資材等の復旧を支援します

このたびの大雨等により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

遊佐町では、令和6年7月25日からの豪雨で被害を受けた農業者の方を対象に、山形県と協調して農業用機械や資材等の復旧を支援します。

1. 対象となる方

遊佐町内に住所を有し、令和6年7月大雨で被害を受けた次のいずれかにあてはまる方

- ①農業者（販売農家）※、②農業法人、③3戸以上の農業者で組織する団体、④農業協同組合
※「農業者（販売農家）」とは、経営耕地面積が30a以上または1年間の農畜産物販売金額が50万円以上の農業者をいいます。

2. 支援の内容

次のメニューの支援を実施します。

No	支援の種類	補助率	限度額
1	パイプハウス等の資材購入	3分の3 (県1/3+町2/3) ※No.8は県1/2+町1/2	各メニュー、項目等で異なります。
2	農機具の購入・修繕		
3	果樹棚復旧の資材購入		
4	畜産施設の復旧、修繕、資材購入等		
5	水害後の病害防除用農薬購入		
6	水害後の作物回復用肥料購入		
7	補植用苗、再播種用種子購入		
8	補植用果樹苗木購入		

※基本、町が1/6補助のところ、さらに町が1/2を上乗せし補助します。

3. その他（共通事項）

- すでに復旧に着手（解体・撤去・発注等）している場合であっても補助対象となります。ただし、このたびの災害による被害の復旧事業であると確認が必要なため、以下の書類等が必要になります。
 - ①罹災証明書や被災届出証明書、写真等で被害状況の把握が可能であること
 - ②購入した資材または農機具等の発注、納品等の履歴が明らかであること
- 当事業により復旧した建物・機械は、保険・共済等に参加する必要があります。
- 本事業は年度内（令和7年3月31日まで）に完了（支払い、納品等）する必要があります。

お問合せ先・申請窓口

遊佐町役場 産業課 農業振興係（3番窓口）

電話 0234-72-5882 FAX0234-72-5896

申請を希望される方は、お早めにご相談ください。

支援メニューの詳細

No. 1 パイプハウス等の資材購入（農業用施設等復旧事業）

【対象経費】

- ・パイプハウス等の復旧のための**資材購入**に要する経費
- ※解体・組立経費は対象になりません。
- ※罹災証明書または被災届出証明書の添付が必要です。

【対象要件】

- ・被災したパイプハウスが耐用年数（法定10年+2年）に達していないこと。被災したパイプハウスが、県の補助を受けたものでないこと。（例外あり）
- ※耐用年数は申請者が共済加入時の申込書等で証明する必要があります。

【補助金の算定基準】

- ・**資材購入費**と**限度額**のいずれか低い額

項目	限度額
パイプハウス	3,711 千円/10a
付帯設備付きハウス	6,075 千円/10a
雨よけハウス	1,785 千円/10a

No. 2 農機具の購入・修繕（農業用施設等復旧事業）

【対象経費】

- ・農機具の復旧のための**購入・修繕**に要する経費
- ※罹災証明書または被災届出証明書の添付が必要です。

【対象要件】

- ・被災した農機具が、県の補助を受けたものでないこと。（例外あり）

【補助金の算定基準】

- ・**購入費または修繕費**と**限度額**のいずれか低い額

項目	限度額
大型農機具 6条刈コンバイン相当以上	2,010 千円/台
中型農機具 トラクター(50ps)相当以上、6条刈コンバイン相当未満	690 千円/台
小型農機具 トラクター(50ps)相当未満の農機具	279 千円/台

No. 3 果樹棚復旧の資材購入（果樹棚復旧事業）

【対象経費】

- ・果樹棚の復旧のための**資材購入**に要する経費

【対象要件】

- ・被災した果樹棚が、耐用年数（法定14年+3年）に達していないこと。被災した果樹棚が、県の補助を受けたものでないこと。（例外あり）

【補助金の算定基準】

- ・**資材購入費**と**限度額（1,692 千円/10a）**のいずれか低い額

No. 4 畜産施設の復旧、修繕、資材購入等（畜産施設等災害対策事業）

【対象経費】

- ・畜産施設等の復旧のための工事・資材等の購入、施設・機械・装置の修繕・整備、蜂群購入、死亡家畜の運搬・処理、緊急避難に伴う家畜等の運搬、消毒資材購入に要する経費
- ※罹災証明書または被災届出証明書の添付が必要です。

【対象要件】

- ・施設等は耐用年数に達していないこと。原則、県の補助を受けたものでないこと。

【補助金の算定基準】

- ・ **当該事業に要する経費と限度額のいずれか低い額**

事業の内容	限度額
自力施工のための応急対策重機の借上料	102 千円/台
復旧工事費、復旧資材購入費	2,001 千円/箇所
施設・機械・装置の修繕料・整備費	2,001 千円/箇所・台
蜂群購入費	51 千円/群
死亡家畜の運搬・処理費	1,812 千円/経営体
緊急避難に伴う家畜等の運搬費	123 千円/経営体
消毒薬等の衛生資材の購入費	102 千円/経営体

No. 5 水害後の病害防除用農薬購入（農薬購入事業）**【対象経費】**

- ・水害で**新たに**防除が必要となったものの病害防除のための**農薬購入**に要する経費
- ※新たに追加散布が必要になった追加購入経費が助成の対象で、散布時期を調節して対応した場合など、防除回数が当初計画よりも増えない場合は対象外です。
- ※次期作に向けた購入は対象になりません。

【対象要件】

- (1) 水稲、大豆、果樹、果樹（樹体）の病害防除
 - ・災害発生後 1 か月以内に殺菌剤を散布（1 回限り）
- (2) 野菜、花き等の病害防除
 - ・災害発生後 1 か月以内に殺菌剤を散布（最大 3 回まで）
- (3) 飼料作物の雑草防除
 - ・災害発生後から R6. 11. 30 までの雑草の繁茂が確認された後、速やかに除草剤を散布（1 回限り）

【補助金の算定基準】

- ・ **農薬購入費と基準単価のいずれか低い額**

品目	基準単価
水稲	1,962 円/10a
大豆	7,704 円/10a
果樹	12,840 円/10a
野菜・花き等 1 回分	7,704 円/10a
2 回分	15,408 円/10a
3 回分	23,112 円/10a
飼料作物	4,800 円/10a
果樹（樹体）	13,800 円/10a

No. 6 水害後の作物回復用肥料購入（肥料購入事業）**【対象経費】**

- ・水害で**新たに**樹勢又は草勢回復が必要となったものの**肥料購入**に要する経費
- ※新たに追加施用が必要になった追加購入経費が助成の対象で、施用時期を調節して対応した場合など、施肥回数が当初計画よりも増えない場合は対象外です。
- ※次期作に向けた購入は対象になりません。

【対象要件】

- (1) 大豆の施肥
 - ・災害発生後 1 か月以内に窒素肥料を施用（1 回限り）

(2) 果樹の施肥

- ・災害発生後 1 か月以内に葉面散布肥料、酸素供給剤を施用（1 回限り）

(3) 野菜、花き等の施肥

- ・災害発生後 1 か月以内に葉面散布肥料は最大 2 回まで、酸素供給剤を施用は 1 回限り

(4) 飼料作物の施肥

- ・災害発生後から R6. 11. 30 までの草勢回復に適した時期に速やかに化成肥料等を施肥（1 回限り）

【補助金の算定基準】

- ・肥料購入費と基準単価のいずれか低い額

品目	基準単価
大豆	5,595 円/10a
果樹（葉面散布肥料） （酸素供給剤）	6,630 円/10a 12,240 円/10a
野菜・花き等（葉面散布肥料） 1 回分	6,630 円/10a
2 回分	13,260 円/10a
（酸素供給剤） 1 回分	12,240 円/10a
飼料作物	22,059 円/10a

No. 7 補植用苗、再播種用種子購入（補植用苗・種子購入事業）

【対象経費】

- ・水害で補植・再播種が必要となったものの苗・種子購入に要する経費
- ※自家用作物の補植、再播種は対象になりません。
- ※次期作に向けた購入は対象になりません。

【対象要件】

- ・災害発生後速やかに補植又は再播種するものであること

【補助金の算定基準】

- ・苗・種子購入費と基準単価のいずれか低い額

品目	基準単価
そば等	9,357 円/10a
ネギ	135,300 円/10a
ニラ	51,480 円/10a
牧草 等	29,892 円/10a

No. 8 補植用果樹苗木購入（補植用苗木購入事業）

【対象経費】

- ・水害で補植が必要となったものの苗木購入に要する経費
- ※自家用作物の補植は対象になりません。

【対象要件】

- ・災害発生後速やかに補植するものであること

【補助金の算定基準】

- ・苗木購入費と基準単価のいずれか低い額

樹種	品種	基準単価
かき	甘秋、太秋	6,600 円/本
	その他	5,940 円/本

※その他、りんご、ぶどう（生食用、ワイン用）、西洋なし、日本なし、もも、すもも、おうとう、梅、くりが補助対象の樹種に指定されています。